

明神山越えおすすめスポット 明神山頂・高井田横穴古墳群



明神山山頂まで 1000m



明神山山頂



水神社



360度展望奈良県側



360度展望大阪府側

大和川をはさんで信貴山と向かい合う明神山（標高274m）は、金剛・葛城山脈の最北端にあり、西側は大阪府に属している。昔から明神山の伏流水が農業用水の豊富な水資源であったことから、西山の明神さんとも云われる「水神社」が山頂に鎮座し、参道の脇道は古くから大和と河内を結んで、聖徳太子送迎の「送迎（ひるめ）越え」とも云われた。

また、明神山には、元々は「太神宮」として、1830年（文政12年）大日靈女尊（おおひるめのみこと）を祀り、四国阿波方面からも多くの人がお参りされ、大いに賑わい、昔は参道にナツメ茶屋やシンコ茶屋、オーコ茶屋などがあつたそうで、今はお山に人家は一軒もない。また昔は、内宮（送迎太神宮）も外宮（亀山太神宮）も宇治橋もあつて、遠くから伊勢の「皇太神宮」へお参りする時は、ここの峠を通るので、ここが大和の皇太神宮で、本家本元であるとも云われ、「太神宮」さんの御神府（おふだ）を授与しておられたから、長旅で疲れた人は、ここだけお参りをして帰られたそうである。



高井田横穴公園



高井田横穴古墳群



横穴古墳



柏原市立歴史資料館



高井田山古墳

高井田横穴公園は、国の史跡に指定されている高井田横穴群（約36,000㎡）を整備し、一般公開されている。横穴古墳群は、大和川に面した標高30～50mの丘陵にあり、1基の横穴式石室を除いて、6世紀中頃から7世紀前半にかけて造られており、未発見を含め約200基以上と推定されている。

リーフレット参照 ①史跡高井田横穴公園 ②柏原市立歴史資料館